情報公開文書　（単施設用）

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘術における有効性と安全性の評価
研究期間	実施許可日　～2025 年 12 月 31 日
研究の対象	2019 年 1 月 1 日～2024 年 1 月 1 日に当院でロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘術を受けられた方
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：年齢、性別、病歴、術前病理および術前病期診断、術中所見、術後病理診断、周術期合併症、術後再発およびその期間等） □手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　　） □血液 □その他（　　）
研究の意義、目的	ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘（RARC）は従来行っていた開腹の膀胱全摘と比べて、身体にかかる負担が少ないと考えられています。2019 年以降当科でも RARC を施行してきています。当科で RARC を施行した患者さんの膀胱癌の術後の経過や手術による合併症などを実際調査することは今後この手術を続けていく上で重要な情報となります。2019 年以降当科で施行した RARC の有効性と安全性を診療記録をもとに調査することが目的となります。
研究の方法	すでに RARC を施行しおえた患者さんの診療記録を定期的に見返すことで周術期の合併症の調査や術後の経過、膀胱癌の再発などの状態を調査します。
その他	本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：0166-68-2533 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目　旭川医科大学腎泌尿器外科　講師　和田直樹 研究責任者：旭川医科大学腎泌尿器外科　和田直樹